



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara

奈良日独協会 (会長 河野良文)

奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

事務局: 加納雅之 (Tel/Fax 0742-22-3636)

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は事務局へ”

## 4 - 5月行事予定

### 1. 奈良日独協会定例総会

5月9日(土) 14:30~、和ダイニング  
「花小路」(奈良市小西町)で開催。案内資料同封

### 2. 第2回大安寺源流コンサート

4月29日(祝) 13時開場、場所: 大安寺本堂  
主催: Nara Stag Club (NSC)  
後援: (社)平城遷都1300年記念事業協会  
協力: 奈良日独協会 (JDG奈良)  
入場料: 1,000円(高校生以上)  
前売りチケットは事務局まで。(当日購入も可)

## 会員だより

### 1. 新入会員の菅原邦雄さんより

「ドイツと私」と題し投稿いただきました。

「大学の理学部で学んでいた時のことです。代数学演習のテキストとして予告もなく配られたのがドイツ語で書かれた論文のコピーでした。入学時のガイダンスで数学科の主任から『数学を勉強するには外国語が4つ要る』と言われていたことが現実になりました。第二外国語がドイツ語ではなかったのが戸惑いましたが、数学の論文なら、何語でも辞書さえ引ければ読めるということがわかったのはいい経験でした。



その何年か後にドイツのボン大学で1年間研究生生活を送る機会を得ました。上司である教授の『採択されることは期待できないが、在外研究の申請書を書くのも経験だから』という一言がきっかけでした。まったく予期していなかったため、結果を知らされたときは慌てました。30年以上前のことですが、懐かしく思い出されます。それ以来ドイツに行く機会がありませんが、首都がベルリンに移転してボンも大きく大きく変わったことと思います。

今回、上野弥生さんと音楽会で偶然ご一緒したご縁から、日独協会に入会させていただくことになりました。どうかよろしくをお願いします。」

(菅原邦雄さんは大阪教育大学数理科学講座教授で微分幾何学の専門家。和算やそろばんにも関心が深く、「博士がくれた贈り物」「きらめく数学」などの著書があります)

2. 上野弥生さんは、旅行中に鹿児島日独協会にコンタクトされ、「3月22日、事務局長の梅内幸信さん、久保巖さん、浜田佳寿江さん、武田輝章さんよりお食事のご招待を受け=写真左上、初対面とは思えないほど盛り上がりドイツのことや協会の取組みなどについて話し合うことが出来ました。今回をきっかけとして、今後奈良と鹿児島の協会間で交流が生まれるとよいと思います。」との報告がありました。会員の皆様も機会があれば各地の日独協会にアプローチされてはいかがでしょうか。

## 1 - 3月行事報告

### 1. 「ドイツ環境保全展」

(2月17日~3月8日、県立図書情報館・JDG奈良共催、県立図書情報館メインエントランスホール)

「展示内容は地元生産品の推奨や中古品のリサイクル、節電や循環経済など環境対策で、パネル30点を使い、その具体例をわかりやすく説明されている。来館者の中には足を止めて、じっくりとパネルを読む人も。ドイツでは国民の92%が環境保全を重要なテーマであると答えるなど、環境先進国として有名。環境と経済的メリットが相反しないという意識が長年にわたって培われている。国の政策も「持続可能」なプロジェクトを推進しており、発電の分野は20年かけて風力、太陽、バイオマスなどを利用することで、CO2の大幅な削減に成功。再生可能エネルギー比率が全体の11%を超えているという」  
(奈良日日新聞・2月28日記事より抜粋)



### 2. 第1回大安寺源流コンサート

(3月29日、主催: Nara Stag Club 協力: JDG-奈良、80名参加) 平城遷都1300年祭のイベントとして開催。

大阪のジャズハウスや神戸ジャズフェスティバルなど幅広く活動している熟年デキシーランドジャズG.と郡山高校出身気鋭の若手ファンキー・ジャズG.の共演。昭和20年生れの熟年から若手まで世代・ジャンルを超えたパワフルな演奏に会場は大いに盛り上がった。

第2回目では神戸を中心に活動するアマチュア室内楽団のアンサンブルオルタンシア KOBE による演奏が行なわれます。



